

外部有識者とのダイアログ

帝人グループは、2021年10月20日に、CRT Japan主催の「ビジネスと人権に関する国際会議」において、CSR管掌が海外人権有識者と帝人グループの人権の課題と取り組み状況について対話を行い、以下のフィードバックを受けました。指摘された課題については、グローバル第一線の外部有識者とダイアログを実施して助言や評価を受けながら改善を図っていきます。

帝人グループは、CEOや取締役会のコミットが明確であり、リーダーシップを発揮している。またCOVID-19の影響と人権とを結びつけて取り組むなど、新しい課題を探索し、常に変化に対応しようとする姿勢が素晴らしい。

人権の焦点を労働者に当てており、これは正しい事だが、人権と環境を組み合わせた問題把握が喫緊の課題であり、その視点での課題抽出と対策が期待される。

サプライチェーンにおける脆弱な立場の労働者との対話の継続的な実施や、同じ課題をもつ別の企業と協力して課題解決に努めることが望ましい。

情報開示の標準は様々あるが、基本は「ビジネスと人権に関する指導原則」である。World Benchmarking Allianceが提案するベンチマークやフレームワークを参照することを推奨する。

取締役会の人権課題への関与の情報開示を進める事で社会の評価が高まる。



人権に関する外部有識者とのダイアログを実施（2021年10月20日）

国内の外部有識者との定期的なダイアログ

ビジネスと人権の取り組みに関する国際的な潮流や基準に沿って人権尊重の取り組みを進めるため、国内外のトレンドに造詣の深い外部有識者であるCRT JapanとCSR管掌がダイアログを定期的を開催しています。帝人グループの事業の状況と人権に与えるインパクトをリアルタイムに把握し、取るべき対応の方向性について議論を重ねています。

帝人グループによる人権デューデリジェンスの状況（CRT Japanコメント）（PDF：728KB）